

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや
ちくさ

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 〒481 千種区池下一丁目4番18号
井上ビル4F D号
Tel 763-5110
会長 水野民也

創立総会

MANKIND IS ONE-
Build Bridges of Friendship
Throughout the World

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
1982~83年度RI会長 向笠広次

名古屋千種ロータリークラブ創立総会を開催



名古屋千種ロータリークラブのメンバー

名古屋千種ロータリークラブは、名古屋東ロータリークラブのスポンサーにより、昭和57年8月16日、愛知厚生年金会館において創立総会が開催された。

第260地区で88番目、名古屋市内では第14番目のクラブとなる名古屋千種ロータリークラブの創立総会が、大隈孝一第260地区ガバナーの要請並びに相羽鋳一尾張第一分区代理の指示により、昭和57年8月16日(月)午前11時30分から愛知厚生年金会館において、会員26名の他来賓多数のご臨席のもと盛大に行われた。

総会は伴正雄東ロータリークラブ幹事による司会で、まず余語栄三特別代表による開会の辞があり、君が代斉唱のあと、余語特別代表から来賓紹介、千種ロータリークラブ会員紹介、創立経過報告があり、山田巖男ガバナーエイドから創立会員紹介が行われた。

次いで余語特別代表が議長となって、クラブ名称の決定など4議案を審議可決したのち、余語特別代表より大隈ガバナーへ国際ロータリー加盟申請書を提出した。

来 賓

R I 第 260 地区ガバナー

	大 隈 孝 一 殿
ク	パストガバナー
	佐 藤 知 雄 殿
ク	拡大カウンセラー委員会 委員長
	川 瀬 保 殿
ク	尾張第一分区代理
	相 羽 鎧 一 殿
ク	地区幹事
	伊 藤 光 殿
ク	地区会計長
	服 部 英 一 殿

＜創立経過報告＞

特別代表 余 語 栄 三

名古屋東ロータリークラブは、名古屋ロータリークラブのスポンサーによって、昭和34年5月21日に名古屋北ロータリークラブと日と同じくして創立いたしました。

その後、東ロータリークラブがスポンサーとなり昭和47年3月15日に名古屋和合ロータリークラブが、又、和合ロータリークラブのスポンサーにより、昭和53年6月20日には名古屋東ロータリークラブが創立されました。

区域内の人口が27万余である東クラブによる新クラブ設立は、ここ数年来の地区の課題でした。

前年度、即ち昭和57年6月11日に行われた名古屋市内13RC会長・幹事に於て、山田前分区代理並びに相羽現分区代理より東クラブでは是非新クラブを設立して欲しいとの話があり、尾関会長は慎重にこれを受けられ、東クラブの理事会（7月5日）及び歴代会長幹事会（7月5日）に諮られたところ承認されました。

新年度（1982.7～1983.6）に入り、相羽分区代理より大隈ガバナーに報告がなされ、ガバナーより私を特別代表に、山田巖男君をガバナーエイドにとの内示を受けた後、7月19日の東ク



創立の経過報告をする余語特別代表

ラブの臨時総会で承認され、私共は各々委嘱状を受け、ここに正式発足する運びとなりました。

その後、東クラブから2名の移籍が予定され、新規の入会候補者24名が加わりました。そして例会場の決定、事務所の決定、キーマンバーの決定、チャーターメンバーの決定と会合を順次行い、本日議案を提出するに至りました。

6月下旬から8月中旬までという短い期間に創立総会までの準備を推進するのは非常に慌しく、全く昼夜兼行といった状況でしたが、お陰をもちまして今日という日を迎えることができました。

ここに大隈ガバナー、ガバナー事務所の方々、相羽尾張第一分区代理の御指導、並びにスポンサークラブである東ロータリークラブの尾関前会長、石塚会長を初め、会員諸君から寄せられました御協力に対して心から御礼申し上げます。

以上をもちまして、創立経過報告とさせていただきます。

＜祝 辞＞

RI第260地区ガバナー

大 隈 孝 一

一言お祝い申し上げます。

皆様の御熱意によりまして短期間のうちに、立派なクラブができましたことはまことに私にしても嬉しく、皆様の御努力に厚く感謝申し上げます。



祝辞を述べる大隈ガバナー

げると同時に新クラブが本日より幸先の良いスタートを切って頂きたいと思います。

実は当260地区は非常にクラブ数の多い地区でございます、当クラブの参加によりまして88クラブになります。考えてみますと88は非常に目出たい番号でございます、私はまことに記念すべきクラブの発足が今日できたと思います。後はR I 本部の事務的な手続がございますから正式な活動は少し遅れると思いますが、実質は今日の皆様の会合によって発足したと考えてよいと思います。いずれ私も公式訪問をするという段取りになるとは思います、その節には皆様のいろいろなお話を伺い、私もお話を申

し上げることもあると思います。

ロータリークラブの基本はやはり友情、あるいは善意、あるいは奉仕といった精神で皆が結ばれているということでございまして、それを中心にして皆様がいろいろな活動をなさることになると思います。そして同時にこれは非常な世界的規模でございまして、約150カ国近くに90万人のロータリアンがおりまして同じような気持で各々の地域で活動しております。しかし御承知のように最近では各国の国情も違ってきておりまして、具体的な活動もかなり違ったものがあると思いますが、その気持は皆一緒であると思います。

そういう意味でこの御目出度い88ナンバーのクラブができて、この名古屋における新しいクラブとして新風を持ってスタートされんことを心から期待申し上げる次第でございます。

なお最後になりましたが、特別代表の余語さんを始め分区代理さんその他関係各位に非常に御尽力頂いたことを改めて御礼申し上げます、非常に幸せな新クラブの発足を心から御祝ひ申し上げたいと思います。どうぞ今後ともしっかりやって頂きたいと同時にどうぞよろしくお願い致します。

名古屋東ロータリークラブ参加者名

特別代表	余語栄三
ガバナーエイド	山田巖男
会長	石塚直隆
直前会長	尾関重雄
幹事	伴正雄



余語特別代表より大隈ガバナーへ加盟申請書提出

尾張第一分区代理 相羽 銈 一

名古屋千種ロータリークラブの皆さん設立御目出度うございます。只今は設立に関する諸行事総て無事に終了致しまして心よりお喜び申し上げます。

そもそも4月10日の愛知県内の分区代理及び愛知県内の会長幹事会が開催されました時には新クラブの話は全然出ませんでした。それが大隈ガバナーが5月28日から6月4日までみっち



祝辞を述べる相羽尾張第一分区代理

りガバナーとしての研修を受けられまして、お帰りになりますと急に新クラブの話が出て参った訳でございます。そして何とか協力して欲しいと私に言われました。それで当時の東ロータリークラブの会長の尾関さん又只今千種ロータリークラブの会長を任命されました水野さん、あるいは特別代表の余語さん、そのような方々と相談しましたところ、お互いに意気投合しまして、よし創ろうというお話で協力して頂けることになった訳でございます。そして6月28日の最終理事会で新クラブ設立の理事会決定がなされ、それを受けつがれまして石塚会長にも何かと立派なクラブを創ろうと御協力賜わり、現在に至っております。又、ここにおみえの佐藤バスターガバナーや川瀬バスターガバナーにもいろいろと御協力を賜わり、こうして千種クラブの発足ということになった訳でございます。

只今は26名の会員で仮クラブとして発足されましたが、本日の書類がR I 本部に行きまして、認証され、1週間ないし10日の内に正式クラブとして認証されますことを確信しております。そしてその時には目出度く名古屋千種ロータリークラブとして大きく発足される訳でございます。皆様も今後ロータリークラブの一員として大いに活躍して頂きたいと思います。名古屋千種ロータリークラブの益々の繁栄と26名の皆様方の御健勝を祈念しまして分区代理としての御挨拶に代えさせていただきます。どうも皆さん御目出度うございました。

スポンサークラブ会長

石塚 直隆

スポンサークラブとして一言御祝いを申し上げます。

まずは本日の設立総会にあたりまして大隈ガバナー他多数の御来賓の御出席を賜わりまして、厚く御礼を申し上げます。

この設立までの経過につきましては先程からいろいろ詳しい御説明があり、私は不案内で余計なことは申しませんが、この名古屋の東クラブの中におきましていろいろ御指導を得た後、

尾関前会長が肝入りとなりまして、水野民也君を中心として準備が進められ、その実現を見るに至ったということでございます。

御承知のように名古屋東クラブは名古屋北クラブと同年昭和34年5月に発足している訳でございますが、北クラブはすでに守山、名北という立派なクラブの誕生をスポンスしております。我が東クラブは昭和47年に和合クラブをスポンスして誕生させている訳でございます。

従いまして時期的な気運として、新しいディショナルクラブの発足というものが熟していた訳でございます。そして我が東クラブに水野民也君というすぐれたロータリアンがおられまして、新クラブリーダーとして真にふさわしい方で、今回のこの発足が非常にスムーズに行った訳でございます。

新しいクラブが今後ロータリー精神の実践に向かって精進され、ロータリーの将来に大きなプラスとなることを期待し、今後の御発展をお祈りし、簡単でございますが、お祝いの言葉とさせていただきます。



祝辞を述べる石塚スポンサークラブ会長

<会長挨拶>

水野民也

余語特別代表が主催されました名古屋千種ロータリークラブの創立総会に於て、初代会長として推挙されました水野民也でございます。

会員を代表致しまして御礼の言葉を申し上げますと存じます。

大隈ガバナーには連日のロータリーの公式の行事の間をぬっての御出席、先ずもって厚く御礼申し上げます。

相羽前代理、伊藤地区幹事、服部会計長、拡大委員長の川瀬バスターガバナー、東ロータリークラブよりの佐藤バスターガバナー、余語特別代表、山田ガバナーエイド、石塚会長、伴幹事、直前会長であり千種ロータリークラブの恩人である尾関重雄君のご臨席と、千種ロータリークラブとしては光栄の至りと深く感謝申し上げます。

名古屋千種ロータリークラブの誕生までに

は、いくつかの山がございました。近くでは2階建てとしての地域の問題、事務所決定までのいきさつ、古く森バスターガバナーの頃に山田ガバナーエイドが会長であった頃分割の話がありましたが、時期尚早と見送られたこと、それが今回、前分区代理の山田君、現分区代理の相羽君から直前会長の尾関君に話があり、今日まで66日、2カ月余よく漕ぎつけたものと思えます。

これ一重にも二重にも、ガバナー並びに特別代表、関係されました皆様のお力添え、アドバイスによるものと心から厚く御礼申し上げます。

本日特別代表よりガバナーにご提出致しました諸書類、創立会員として名を連ねました諸君らと心を合わせて、よきロータリークラブとするため、よきロータリアンとなるため勉強をし、社会、国際職業、クラブ奉仕を進めるために4 way test 並びに綱領をよく守り、特に本年の向笠RI会長の「人類は一つ」であるの言葉の意味をかみしめて進むことをお誓い致したいと存じます。

これから10年、20年、いやロータリーのある限り御指導御鞭撻を頂きますようお願いしてごあいさつと致します。

最後になりましたが、東の会員であり今回移籍されました鈴木君のおかげでこの年金会館が例会場として使用できますことも合わせて厚く御礼申し上げます。



挨拶する水野千種ロータリークラブ会長

—1982~1983年度理事役員の選任—

会長(理事)	水野民也
副会長(理事・クラブ奉仕)	古川勝巳
幹事	松居敬二
副幹事	三輪康
SAA	谷口暢宏
副SAA	水野賀統
理事(社会奉仕)	鈴木猛三
理事(国際奉仕)	竹内真一
理事(職業奉仕)	黒須一夫
会計	永野敏夫